

わかりやすい行財政

○講座のねらい

行政を取り巻く急速な状況変化に柔軟に対応するためには、職員がこれまでの業務等を通じて得た一般的知識以上に、高度かつ専門的な見識が要求されることから、行政運営の中でも特に重要とされる「行政や財政の仕組み、現状、課題」等に焦点を当てながら、より深い専門的知識と広い視野を養う。

○対象者

受講を希望する職員

○日 程

第1組 令和3年11月16日(火) 1日間

第2組 令和3年11月17日(水) 1日間

○会 場

鹿児島市内(午前9時40分までに集合)

○予定人員

120名

○カリキュラム

午 前	午 後
(9:50~10:00) ・オリエンテーション	(13:00~16:00) ~石田尾名誉教授~ 「新しい政策主体づくりの現状と課題」 ・自治体を取り巻く最新の情報及び知識の習得 ・長期ビジョンと自治体における政策企画 自治体運営から自治体経営へ ・研修企画の考え方:マネジメント研修 ・政策評価と政策形成 NPMの理論と実践、PFI・PPP、住民参加論、 政策形成の手続きと戦略、自治体政策評価、 IT革命と地方行政
(10:00~10:55) ~県財政課~ 「県の財政状況と今後の課題」(仮題) ・地方財政の役割 ・地方財政の現状 ・地方財政の最近の動向 ・鹿児島県財政の今後の課題	(16:00~) ・閉講
(11:10~12:00) ~県市町村課~ 「県内市町村の財政状況と今後の課題」(仮題) ・県内市町村の財政状況 ・市町村財政運営の課題	

○講 師

第一工業大学

名誉教授

石田尾 博夫

他 県財政課、県市町村課



【令和2年度受講生のアンケートから】

- 政策立案と政策評価について、課題解決のヒントが見つかるかと思い、受講した。
- 最初の講義で県全体の財政を学んだ後、市町村単位の財政の講義だったので、非常に分かりやすかった。
- これまで地方自治体に求められていたことと、これから求められることの明確な違いを学ぶことができた。自らの地域にはどのようなことが必要なのか、改めて考えていきたい。